

父：太平洋やインド洋などで、数か月から1年くらいかけて、マグロやカツオなどをとる^{えんよう}遠洋漁業は、1950年ころから急速に生産量を増やしてきたんだ。だけど、1973年ころから船の燃料費が大きな負担^{ふたん}となったことや、1977年ころから日本をふくめ海に面する国が海岸から200海里（約370km）の海で、他国の漁船がとる魚の種類や量をきびしく制限するようになったことなどにより、生産量は急速に減ったんだ（図1、表1）。

武蔵：マイワシ、サバなどをとる^{おきあい}沖合漁業も同じかな。

父：200海里以内で、数日かけて行われる沖合漁業は、1970年代から80年代半ばくらいにかけて生産量を増やして、日本の漁業の中心になったよ。だけど、1980年代後半から^{きゅうげき}急激に生産量を減らしてきているんだ。その理由の一つに、数十年規模で起こる海水温の変動の中で、1990年代以降は海水温が温かくなったため、寒冷を好むマイワシの生産量が減少したとも言われているんだ（図1、表1）。

武蔵：^{えんかん}沿岸漁業はどうなの。

父：海岸近くの海で行う漁業では、漁船が小型であるか、漁船を使用しない場合もあるので、あまり燃料の石油の値上がりにはえいきょうを受けず、生産量はほぼ横ばいのような状態だったけれど、自然かん境の変化などで1985年ころから少しずつ減少^{けいこう}しているところがあるね（図1、表1）。

図1 漁業種類別（遠洋漁業、沖合漁業、沿岸漁業、養しよく業）生産量とマイワシの生産量の変化

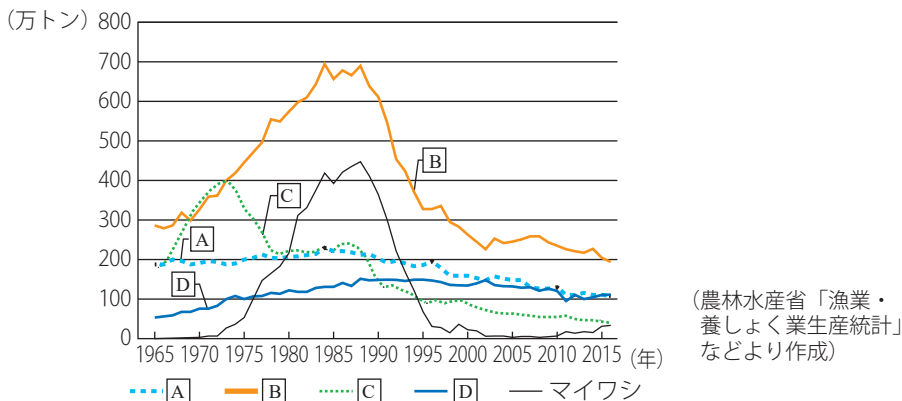


表1 日本の漁業に関連する年表

年	できごと
1973	産油国が石油価格を引き上げたため、日本でも船の燃料費が上がる。
1988	海水温が上しようしたために、マイワシのち魚の死ぼう率が上がってしまい、マイワシの数が減少する。
1996	魚をとりすぎないように法律が制定され、サバなどいくつかの魚の種類については、1年間にとる量が決められる。

■問題：遠洋漁業か沿岸漁業のどちらかを選び、武蔵さんとお父さんの会話をふまえて、選んだ漁業の生産量の変化に当てはまるものを図1中のA, B, C, Dから一つ選び、記号で答えなさい。

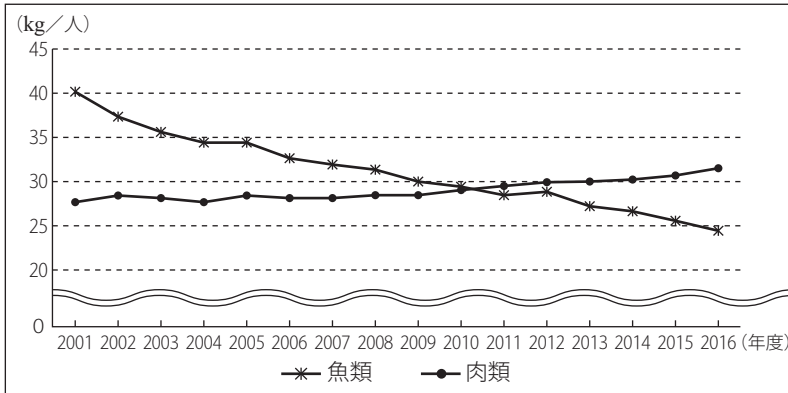
ある日の武蔵さんとお父さんの会話です。

武蔵：最近、日本人は魚より肉を食べることが増えたようだね。

父：確かに、十数年前に比べると、あまり魚を食べなくなってきたね。

近年では、魚の消費量より肉の消費量の方が増えているね(図1)。

図1 魚類と肉類の一人につき1年当たりの消費量の変化



(農林水産省「食料需給表」より作成)

武蔵：魚類と肉類の消費量は、年代によってもちがいはあるのかな。調べてみよう。

父：2007年と2017年を比べてみると、どの年代でも魚類の消費量が減っているね。

一方、肉類の消費量は、どの年代でも増加しているよ(表1)。

表1 魚類と肉類の一人につき1日当たりの消費量の変化(単位:g)

調査年	7~14才		15~19才		40~49才		60~69才	
	魚類	肉類	魚類	肉類	魚類	肉類	魚類	肉類
2007年	55	100	60	140	74	97	105	64
2017年	45	110	50	160	53	115	80	92

(厚生労働省「国民健康・栄養調査報告」より作成)

■問題

表1から「40~49才」か「60~69才」のどちらかを選び、2007年と2017年の魚類と肉類の消費量を比べて、それぞれどのように変化したか、割合を求めて、次の文の()に百分率で表した数を入れなさい。ただし、計算で割り切れない場合は、小数第四位を四捨五入して小数第三位まで求め、求めた数を百分率で表しなさい。

魚の消費量が()%減少している一方、
肉の消費量は()%増加している。

たけしさんの学級では、総合的な学習の時間に「私たちのくらしと防災」というテーマで学習をしています。

まず、たけしさんたちは、まちに住んでいる人に対してのアンケート**資料1**を実施し、その結果の**資料2**からまちの人たちが災害に備えて、どのような用意をしているかについて話し合いました。

たけし「**資料1**の①と②では、非常用飲料水についてたずねているね。」
ゆうこ「この前読んだ防災ハンドブックには、非常用飲料水は『少なくとも3日分、できれば1週間分程度を用意しましょう。』とかいてあったね。

資料2をみると、『災害対策アンケート』に回答した人の80%以上が3日分以上を用意していることが分かるね。」

たけし「確かに**資料2**で3日分以上を用意している人の割合をたすと80%以上になるね。でも、**資料1**と**資料2**をもとに、80%以上という割合が何の割合を表しているかを考えると、そうとは言えないと思うよ。

それはね、「ア」」

資料1 災害対策アンケート

- ① 家庭で災害に備えて非常用飲料水を用意していますか。
(はい・いいえ)

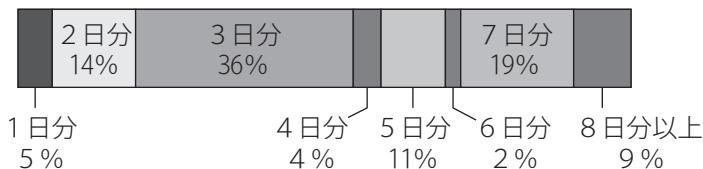
「はい」と答えた人は②へ。「いいえ」の場合は③へ。

- ② 何日分の非常用飲料水を用意していますか。
(1日分・2日分・3日分・4日分・5日分・6日分・7日分・8日分以上)
⋮

資料2 アンケート結果

- ① 家庭で災害に備えて非常用飲料水を用意していますか。
はい…41% いいえ…59%

- ② 何日分の非常用飲料水を用意していますか。



たけしさんは、発言の中のそれはね、に続けて「ア」で、80%以上という割合が何の割合を表しているかを明らかにして、そうとは言えない理由を説明しています。あなたがたけしさんだったら、どのように説明しますか。

「ア」にあてはまる言葉をかきましょう。

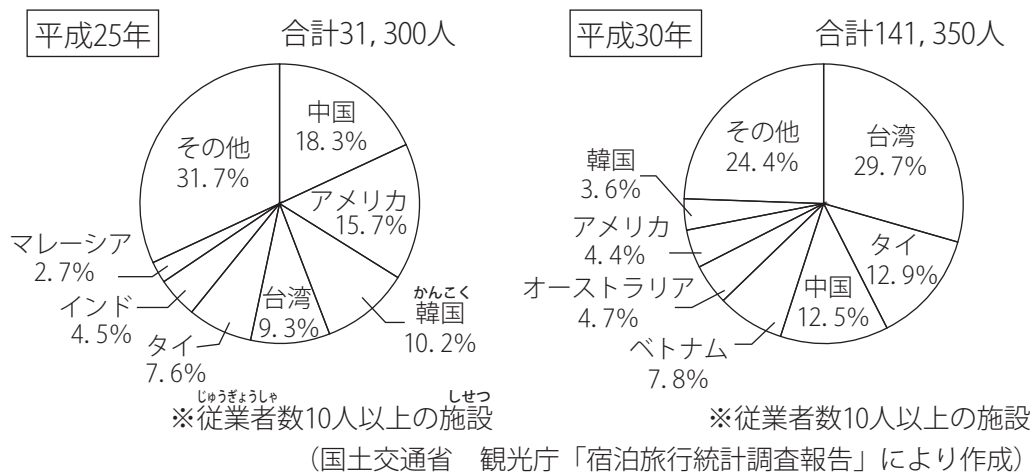
かずやさんは、福島県を訪れた外国人について調べていると、〈資料1〉を見付けました。

そして、福島県における中国や台湾^{たいわん}を出身地とする宿泊者数がどのように変化しているのか調べ、次の□のようにまとめました。

(A), (B)にはどのような言葉があてはまりますか。

あとのア～エの中から正しい組み合わせを1つ選び、記号でかきなさい。

〈資料1〉 福島県における出身地別外国人宿泊者数(のべ人数)



○中国を出身地とする宿泊者数は、平成25年と比べて平成30年は(A)している。

○台湾を出身地とする宿泊者数は、平成25年と比べて平成30年は(B)している。

ア A…増加 B…増加

イ A…増加 B…減少

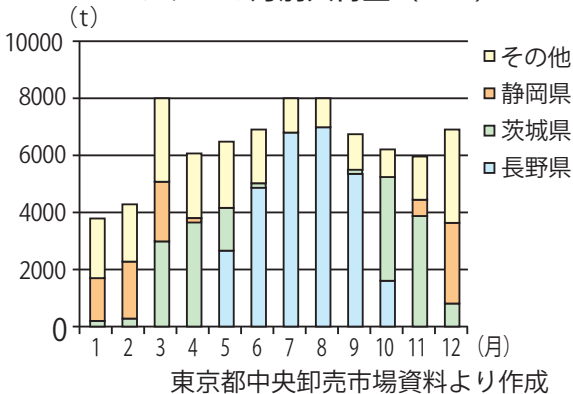
ウ A…減少 B…増加

エ A…減少 B…減少

■問題

長野県はレタスの生産がさかんです。資料1からわかるように、6月から9月に東京の市場に入荷するレタスの半分以上が長野県産である理由を資料2と資料3を見て、20字以上40字以内で書きましょう。

資料1 東京の市場に入荷するレタスの月別入荷量 (2018)

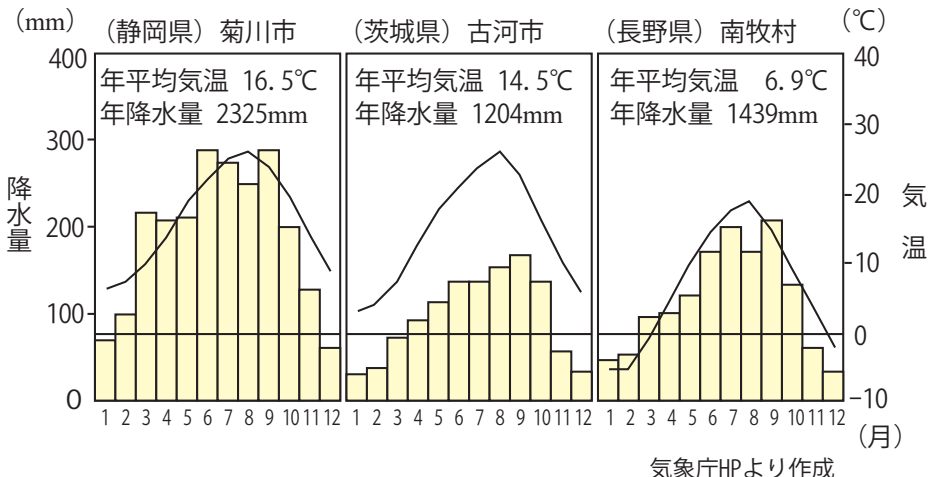


資料2 ある生徒がレタスについて調べたメモ



- ・気温に敏感な野菜。
- ・気温が約15～20℃で最も良く育つ。
- ・年間を通じて販売されている。
- ・冬季にはビニールハウス栽培などもあり、温暖な地域からの入荷もある。

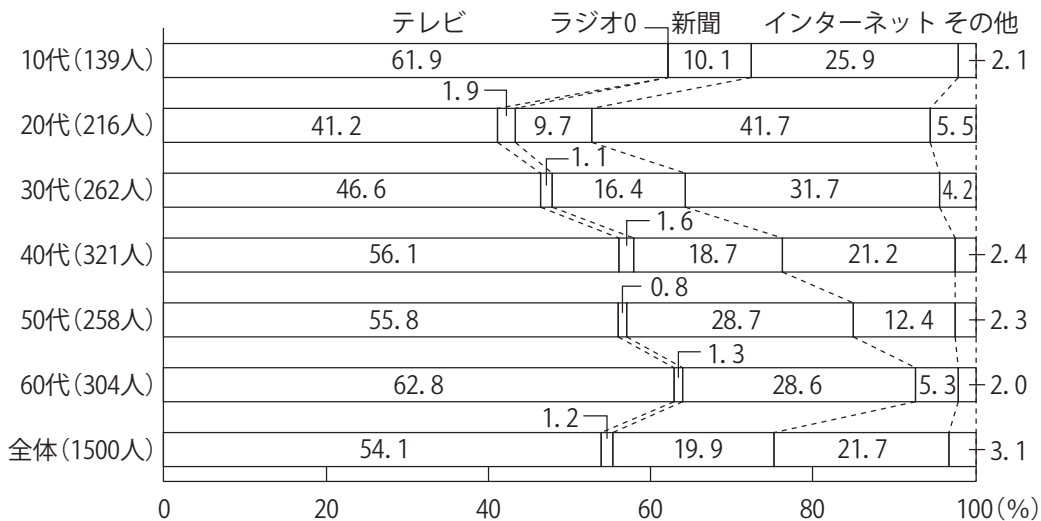
資料3 静岡県、茨城県、長野県の主なレタス産地の気温と降水量のグラフ



最近、新聞を読まない人がとても増えたと言われています。花子さんは、人々が情報を得るために一体何を利用しているのかを調べようと思いました。見つけた資料から読み取れる内容として正しいものを、次のア～オの中から全て選び、記号で答えなさい。

- ア 10代から60代までのそれぞれの年代で、割合が最も少ないのは「ラジオ」である。
- イ 「新聞」と答えた人の割合が最も大きいのは、60代である。
- ウ 「インターネット」と答えた人の割合は、年代が上がるごとに小さくなっている。
- エ どの年代においても、「テレビ」と答えた人の割合は、「新聞」と答えた人の割合の2倍以上である。
- オ 30代をみると、「新聞」と答えた人の割合と「インターネット」と答えた人の割合の合計は、「テレビ」と答えた人の割合よりも大きくなっている。

資料 信頼できる情報を得るために最も利用するものの割合(平成29年)



(総務省「平成29年版情報通信白書」をもとに作成)

先生：消費税は、1989年に初めて日本に導入されたのですが、そのときは3%でした。

その後、消費税は1997年に5%、2014年に8%となり、2019年に現在の10%になったのです。

花子さん：そうだったのですね。現在は1000円の商品を買ったら、その値段の10%にあたる100円を消費税としてお店に払うのですね。

先生：そうです。商品やサービスの代金を支払うときに、10%の税金を負担します。

これを標準税率といいます。ただし、スーパーマーケットなどで買うほとんどの食料品は、税率が標準税率である10%よりも低くなっています。これは、生活に欠かせない商品にかかる税金を低くしているからです。

花子さん：知っています。たしか、食料品などは税率が8%のままで、軽減税率というのですよね。

■問題

花子さんと太郎さんは、日本の軽減税率について調べるために、店で買い物をしたときのレシートを集めました。資料1、資料2のレシートについて述べた文のうち適切でないものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 資料1において、商品A、商品Bは軽減税率の対象となっている商品であり、この2つの商品の消費税を含む合計金額は864円である。

イ 資料2において、商品D、商品E、商品Fの、消費税を含まない合計金額は775円である。

ウ 資料1、資料2において、標準税率の対象となっているのは、商品Cと商品Fであり、2つの商品の消費税の合計金額は90円である。

エ 資料1、資料2にある、すべての商品の消費税の合計金額は177円である。

資料1 花子さんのレシート

お買上票	
毎度ありがとうございます	
TEL 201-91-XXXXXX	
2019年11月22日 10:30	
010000#責任者01	
商品A※	¥300
商品B※	¥500
商品C	¥420

個数	3個
小計	¥1,220
税 10%	¥42
税 8%	¥64
(※が8%対象商品)	
◇◇合計	¥1,326
現金	¥1,500
おつり	¥174

資料2 太郎さんのレシート

〇〇スーパー	
〇〇店	
TEL 201-95-〇〇〇〇	
2019年11月17日18:24 責12	
領収書	
商品D	¥216 軽
商品E	¥135 軽
商品F	¥495

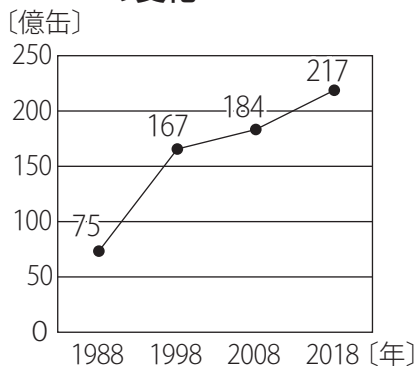
合計	¥846
(内消費税等)	¥71
(税10%対象)	¥495
(税8%対象)	¥351
点数	3個
上記正に領収しました	
お預かり合計	¥846
おつり	¥0
軽は軽減税率(8%)対象商品です	

健太さんとみずきさんは、アルミ缶について調べたところ、次の資料1～3を見つけました。

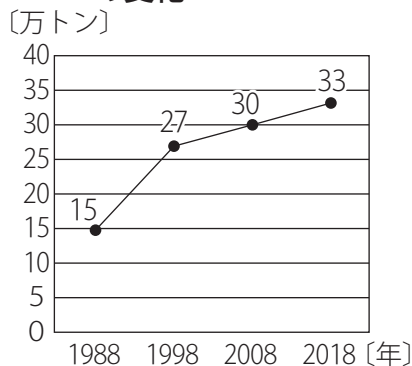
資料1 環境への負担を減らす取り組み(ある製造会社のホームページより)

わたしたちは、環境のことを考えて、軽量化されたアルミ缶の開発に取り組んでいます。これからも、製造技術の向上につとめていきます。

資料2 消費されたアルミ缶数の変化



資料3 消費されたアルミ缶の重量の変化



(資料2・資料3は、アルミ缶リサイクル協会ホームページ/環境省ホームページにより作成)

みずきさんは、2018年のアルミ缶1缶当たりの重さは、1988年と比べて、何グラム軽くなったか、計算したいと考えました。以下は、みずきさんが行った計算の手順です。みずきさんになったつもりで考えて、「ア」に当てはまる文章と、「イ」に当てはまる数字を書きましょう。

■計算の手順

手順1 1988年と2018年それぞれについて、消費されたアルミ缶の重量の単位を、トンからグラムになおす。

手順2 ① 「ア」

② 2018年のアルミ缶1缶当たりの重さについては、^{ししよごにゆう}四捨五入して、一の位までのがい数にする。

手順3 1988年のアルミ缶1缶当たりの重さから、2018年のアルミ缶1缶当たりの重さを引くと、答えは、「イ」グラムとなる。

ひろしくんとまちこさんは校外学習で広島市の平和記念公園を訪れました。
 ひろしくん「平和記念公園には外国から来たお客さんがたくさんいたね。緊張したけど、
 平和についてどう思っているかをきちんとインタビューできたと思う。まちこさんは？」
 まちこさん「うん！外国人に話しかけるのも難しくなかったね。」
 ひろしくん「そういえば先生が、最近は日本を訪れる外国人旅行者が増えていると社会
 の授業で言っていたよ。」

まちこさん「へえー。どれくらい増えてきているのかしら。逆に外国に行く日本人の数は
 はどうだろう？」

ひろしくん「気になるね。調べてみようよ。」

二人は、図書館で資料 1・2 を見つけ、話し合っています。

ひろしくん「2014年までは(A)数の方が多かったんだね。2012年の段階では、(A)数
 の方が2倍以上多かったのに、2015年には逆転しているよ。」

まちこさん「訪日外国人旅行者数は増え続けて、2017年段階で2869万人だって！」

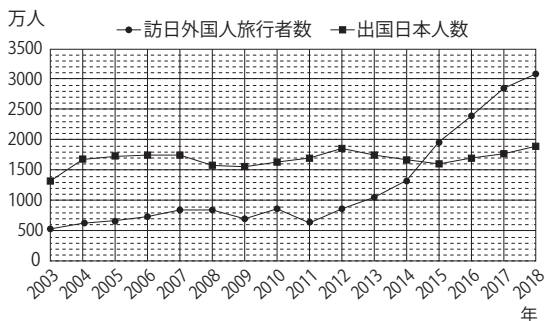
ひろしくん「ちなみに2017年の広島市の訪日外国人旅行者数は152万人だったらしいよ。」

まちこさん「つまり、2017年の訪日外国人旅行者の(B)%の人が広島市を訪れている
 のね。」

■問題

会話文中の(A)にあてはまる言葉を書きなさい。また、(B)に適切な数字を書きま
 しょう。ただし、(B)に関しては小数第2位を四捨五入して小数第1位までにするこ
 と。

〈資料1〉『訪日外国人旅行者数*1・
 出国日本人数の推移*2』

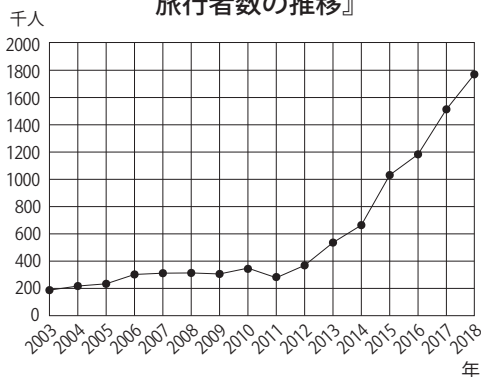


(日本政府観光局『年別訪日外客数、
 出国日本人数の推移(1964年～2018年)』より作成)

*1 訪日外国人旅行者数…海外から日本を訪れた
 外国人旅行者の数

*2 出国日本人数…日本から海外へ出た日本人の数

〈資料2〉『広島市の訪日外国人
 旅行者数の推移』



(『平成31年版(2019年)広島市観光概況』
 より作成)

桜子さんの家族は、5月の連休に福島県に住んでいる秋代さんの家族を、山形県に招待することにしました。

秋代さんの家族に会う前に、桜子さんは山形県の日本一をいくつかしょうかいしたいと考え、資料を見つけ、わかったことをメモにまとめました。

資料 山形県の日本一

	果物		山菜	
	さくらんぼの 収かく量	洋なしの 収かく量	わらびの 生産量	たらのめの 生産量
山形県の数値	14500t	18800t	450.2t	50.9t
全国の数値	19100t	29100t	880.4t	171.1t

(山形県ホームページをもとに作成)

メモ

- 山形県のさくらんぼの収かく量は、全国の収かく量のおよそ(A)%である。
- 山形県の洋なしの収かく量は、全国の収かく量のおよそ(B)割である。
- 山形県のわらびの生産量は、山形県のたらのめの生産量のおよそ(C)倍である。

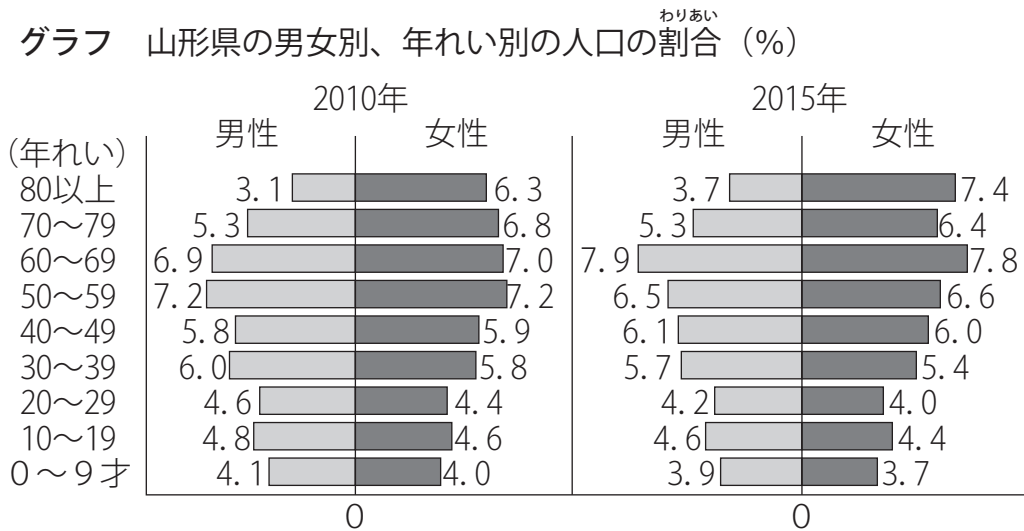
問題

(A)～(C)にあてはまる最も適切な数字の組み合わせを、次のア～カの中から一つ選び、記号で書きましょう。

- | | | | |
|---|-------|-----|-----|
| ア | A 76 | B 6 | C 9 |
| イ | A 132 | B 2 | C 9 |
| ウ | A 132 | B 6 | C 5 |
| エ | A 76 | B 6 | C 5 |
| オ | A 132 | B 2 | C 5 |
| カ | A 76 | B 2 | C 9 |

良子さんと勇太さんは、「山形県の男女別、年れい別の人口」というテーマで調べ学習をし、次の**グラフ**を見つけました。

グラフ 山形県の男女別、年れい別の人口の割合（%）



（政府統計の国勢調査のデータから作成）

勇太さん：この**グラフ**は、2010年と2015年の山形県の男女別、年れい別の人口の割合を表したものだね。**グラフ**の中にある数字は、それぞれの年の人口全体から見た割合をパーセントで表しているね。

良子さん：この**グラフ**からいろいろなことがわかるね。

次のア～エは、良子さんが**グラフ**から読み取った内容です。

まちがっているものを二つ選び、記号で書きましょう。

ア 2010年と2015年の70～79才の男性について、人口の割合は同じであるが、人口が同じかどうかはわからない。

イ 2015年の60才以上の男女を合わせた人口は、2015年の総人口の半分をこえている。

ウ 2015年は、女性の人口より男性の人口の方が多い。

エ 2010年の50～59才の男女のそれぞれの人口は、ほぼ同じである。

「インターネット」について、たろうさんは、**図1**のように2008年と2017年のインターネット利用者の割合が年齢層によって異なることに注目しました。

■問題1

図1から読み取ることのできる内容として正しいものを、次のア～エの中から1つ選び、記号で答えましょう。

ア 2008年と2017年の年齢層ごとの割合を比べると、「20～29歳」の利用者の割合は減っている。

イ 2008年と2017年の年齢層ごとの割合を比べると、利用者の割合が最も増えているのは「60～69歳」である。

ウ 2008年の年齢層ごとの割合を見ると、「80歳以上」の利用者の割合が20%を超えている。

エ 2008年の年齢層ごとの割合を見ると、「40～49歳」の利用者の割合が最も高い。

■問題2

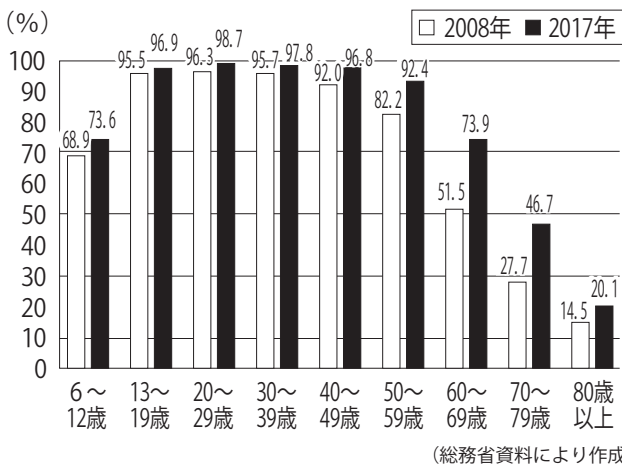
2017年の日本の「70～79歳」の人口は、約1449万人です。**図1**をもとに、2017年の「70～79歳」について、インターネットの利用者数を求める式を書きましょう。

(計算の答えを書く必要はありません。)

■問題3

たろうさんは、インターネットの特徴について他のメディア(テレビや新聞など)と比べるため、次の表にまとめました。私たちが情報を得るときに、インターネットにはどのような特徴がありますか。表のAに当てはまるように、テレビや新聞のおもな特徴の書き方にならって書きましょう。

図1 日本におけるインターネットの利用者割合



メディア	おもな特徴
テレビ	映像や音声で簡単に情報を得られるが、放送を見のがすと情報を得られない。
新聞	整理されたくわしい情報を得られるが、他のメディアに比べると情報がやや遅い。
インターネット	A

たろうさん：図1と図2から、どのようなことが読み取れるか、みんなで話し合ってみようよ。

はなこさん：図1の海外を訪れた日本人の数を見ると、2008年から2018年にかけて、毎年1500万人から2000万人の間で、あまり変化していないよね。

たろうさん：それに比べると、日本を訪れた外国人の数は急増しているよ。

図1の2013年と2018年を比べると、約【あ】倍になっているね。

はなこさん：本当だ。【い】年までは、海外を訪れた日本人の数を下回っていたのに、【う】年には、初めて逆転していることも分かるよ。

たろうさん：図2を見ると、外国人旅行者の約86%が【え】から来ている人たちだから、その地域の発展とも関係があるかもしれないね。

■問題

【あ】～【え】に当てはまる数や言葉をそれぞれ答えましょう。

ただし、【あ】は整数で答えましょう。

図1 日本を訪れた外国人の数と海外を訪れた日本人の数の推移

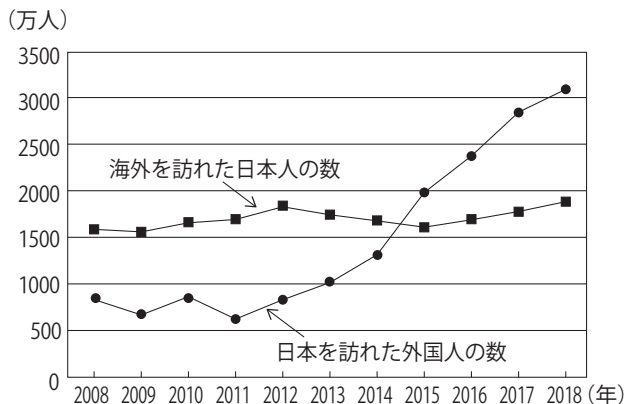
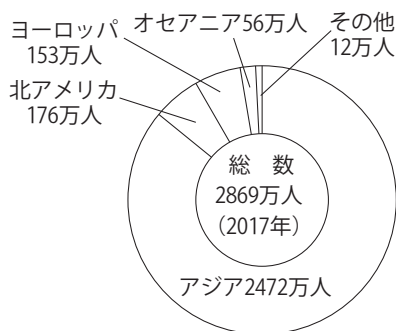


図2 日本を訪れた外国人旅行者の出身地域の内訳



(日本政府観光局資料により作成)

はなこさんは、スーパーマーケットの出入り口に、「3R(Reduce・Reuse・Recycle)」を啓発するポスターがはられているのを見つけました。

■問題 1

ポスターを参考に「リユース」についてあなたができることを具体的に1つ書きましょう。

■問題 2

はるみさんは、自分たちが出しているごみの量が気になり、学校で学習したことと新しく見つけたグラフから、ごみの処理についてもう一度考えてみました。ポスター、はるみさんが学校で学習したこと、グラフをもとに、ごみ処理について分かることと、今後わたしたちが進めていかななくてはならないことについて説明しましょう。

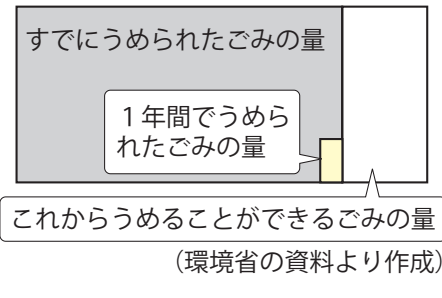
ポスター



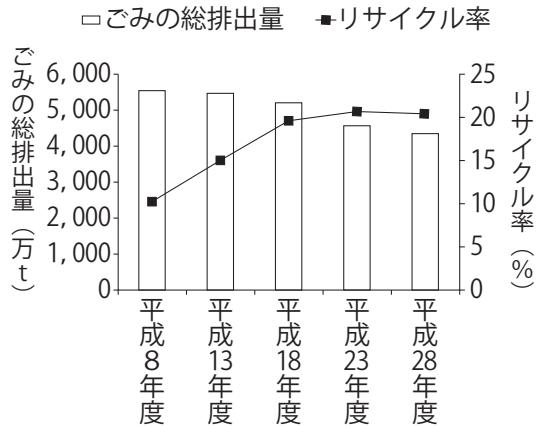
はるみさんが学校で学習したこと

○せいそう工場から出されたはいや、リサイクルできなかったものなどは、処分場に運ばれる。

全国の処分場のようす(平成28年度)



グラフ ごみの総排出量とリサイクル率



(リサイクルデータブック2019より作成)

たろうさんとかなこさんは、^{おとず}学級新聞の記事を書くために、日本を訪れた外国人旅行者について調べています。

先生：外国人旅行者について、どんなことを調べましたか。

たろう：わたしは、外国人旅行者の数の変化を調べました。〔グラフ〕のように、ここ数年で、外国人旅行者が増えていることがわかります。

かなこ：たしかに、2013年に1000万人を上回り、2018年には2013年の3倍に増加していますね。

先生：かなこさんは、何を調べましたか。

かなこ：わたしは、どの国や地域からの旅行者が多いのか、その割合を調べて、〔表〕にしてみました。

たろう：では、調べたことをまとめて、学級新聞用の〔記事〕を書きましょう。

〔記事〕

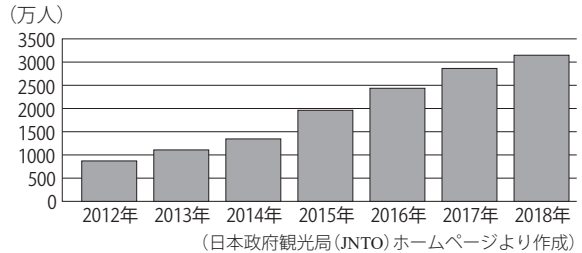
日本政府観光局の調査によると、日本を訪れた外国人旅行者の数は、2013年に年間1000万人を上回りました。その後も増え続けて、2016年には年間2000万人、2018年には年間3000万人を突破しました。

2013年と2018年の外国人旅行者の国や地域の割合を比べてみると、上位になっている国や地域は変わっていません。

中国、韓国、台湾、香港といった日本から近い国や地域からの旅行者が多く、2018年には、それらの国や地域の割合を合計すると、全体のおよそ「 」になります。また、A中国からの旅行者の数が増え、2018年はすべての国や地域の中で最も多くなりました。

その一方で、2018年のアメリカ合衆国からの旅行者の数は、2013年と比べ、B減少しています。

〔グラフ〕日本を訪れた外国人旅行者の数



〔表〕日本を訪れた外国人旅行者の国や地域の割合 (2013年と2018年)

2013年	国または地域名	割合	2018年	国または地域名	割合
1位	韓国	23.7%	1位	中国	26.9%
2位	台湾	21.3%	2位	韓国	24.2%
3位	中国	12.7%	3位	台湾	15.3%
4位	アメリカ合衆国	7.7%	4位	香港	7.1%
5位	香港	7.2%	5位	アメリカ合衆国	4.9%
	その他	27.4%		その他	21.6%

(日本政府観光局 (JNTO) ホームページより作成)

■問題1 〔記事〕の「 」に入る割合として最もあてはまるものを次の①～⑤の中から1つ選び、その番号を書きましょう。

- ① 3分の1 ② 2分の1 ③ 3分の2 ④ 4分の3 ⑤ 5分の4

■問題2 〔記事〕の下線部A, Bについて、次のア, イの各問いに答えましょう。ただし、日本を訪れた外国人旅行者の数は、2013年は1000万人、2018年は3000万人であるものとします。

ア 下線部A「中国からの旅行者の数」について、2018年は2013年のおよそ何倍に増えたか、最もあてはまるものを次の①～⑥の中から1つ選び、その番号を書きましょう。

- ① 1.5倍 ② 2倍 ③ 3倍 ④ 4倍 ⑤ 5倍 ⑥ 6倍

イ 下線部B「減少しています」は、まちがっています。その理由について、アメリカ合衆国と旅行者の数という2つの言葉を使い、文で具体的に説明しましょう。式を入れてもかまいませんが、わかりやすく書きましょう。

ゆうたさんたちは、「日本の貨物輸送の現状」について調べています。

ゆうた：国内では、工業製品や食品など、たくさんの貨物が輸送されているね。

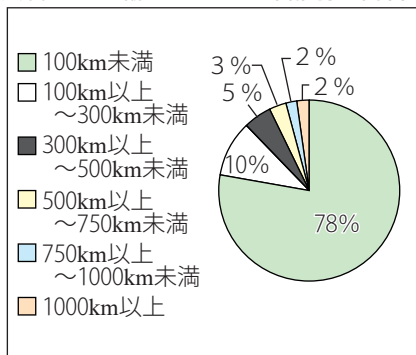
さき：主な輸送手段として船、鉄道、自動車が使われていて、平成28年度の3つの輸送手段の国内総輸送重量は、約48億tもあるね。

かい：国内総輸送重量について距離別、輸送手段別に、国内輸送の状況を調べてみたよ。資料1は、距離別の輸送重量の割合、資料2は、資料1の各項目を輸送手段別に見たもののグラフだよ。

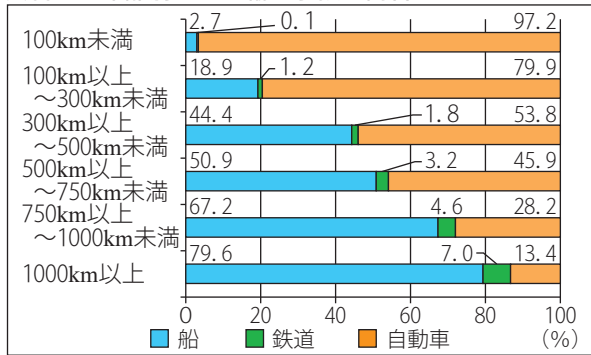
資料1と資料2は、船、鉄道、自動車のみで作ってあるから、「全輸送」とは、この3つの輸送手段に関する情報だけを合わせたものだよ。

ゆうた：それぞれの輸送手段には持ちようがありそうね。資料1と資料2からわかったことを、資料3として、表にまとめてみるわ。

資料1 全輸送における距離別の割合



資料2 距離別にみる輸送手段の割合



資料3 輸送手段の持ちよう

	全輸送にしめる割合	輸送距離	輸送距離からみた具体的な持ちよう	まとめ
船	10.7%	主として遠距離	資料2より、750km以上の輸送における船の割合は <input type="text" value="い"/> %である	<input type="text" value="え"/>
鉄道	<input type="text" value="あ"/> %	近距離～遠距離	資料2のすべての項目における鉄道の割合は10%未満である	<input type="text" value="お"/>
自動車	88.7%	主として近距離	全輸送における100km未満の自動車の割合は <input type="text" value="う"/> %である	<input type="text" value="か"/>

■問題1 資料3の「あ」～「う」にあてはまる数を書きなさい。ただし、必要に応じて四捨五入し、答えは、小数第一位まで書くこと。

■問題2 「え」～「か」に入る最も適当な言葉を、次のア～エのうちからそれぞれ1つずつ選び、その記号を書きなさい。

- ア せいまいはんい範囲での輸送に使われることが多い
- イ 離れた場所への輸送に使われることが多い
- ウ どの距離でも一番使われている
- エ どの距離でも使われることが非常に少ない

たろうさんとはなこさんが、二人で川崎港について調べています。

たろうさん：川崎港は、東京湾、横浜港、大阪港、神戸港とともに、国から国際戦略港湾に指定されている重要な港の1つなんだ。

はなこさん：国際戦略港湾って何かしら。

たろうさん：日本の港の国際競争力を高めるために、大型船が入れるようにしたり、24時間港で業務ができるように国が中心となって重点的に整備を進めている港のことだよ。

はなこさん：ほかに川崎港の特色はないのかしら。

たろうさん：川崎市の公式ウェブサイトにはいろいろな資料がのっていたよ。

2018年に川崎港で輸出入された主な貨物の割合を示したグラフ〔資料〕があるよ。

はなこさん：石油関連のものが多いのね。

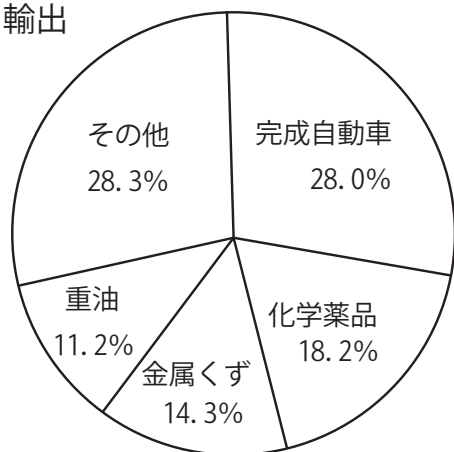
たろうさん：川崎港の輸出入の品目を見ると、前に勉強した日本の貿易の特色と似ていることがわかるね。

■問題

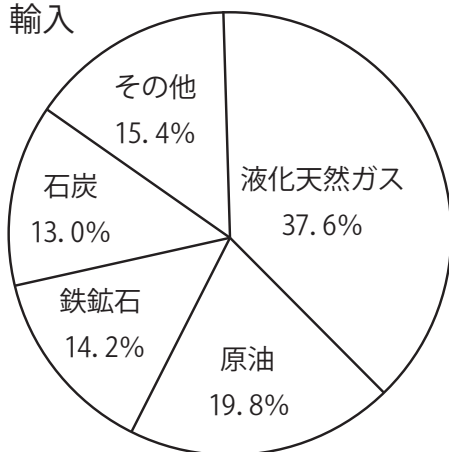
下線部について、〔資料〕をもとに、「輸出」と「輸入」の2語を用いて日本の貿易の特色を説明しましょう。

〔資料〕 2018年 川崎港の主な輸出入品の割合

輸出



輸入



たろうさんとはなごさんは、郵便物の移り変わりについて話しています。

はなごさん：たろうさんは手紙を書くことはあるのかしら。

たろうさん：あまりないかな。年賀状は書くけれど。

はなごさん：ところで、郵便物の数は、どう変化しているのかしら。

先生：郵便物を取り扱った数の移り変わりをあらわした**引受郵便物数**〔資料1〕を見ればわかりますね。

たろうさん：2001年までは増加していたけれど、その後は減少しているのはなぜだろう。

先生：もう1つの資料、**パソコン普及率**〔資料2〕にヒントがありますよ。

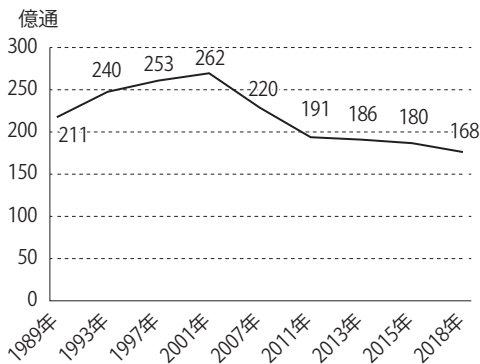
たろうさん：先生、パソコン普及率とは何ですか。

先生：日本の中でパソコンのある家庭の割合のことです。

■問題

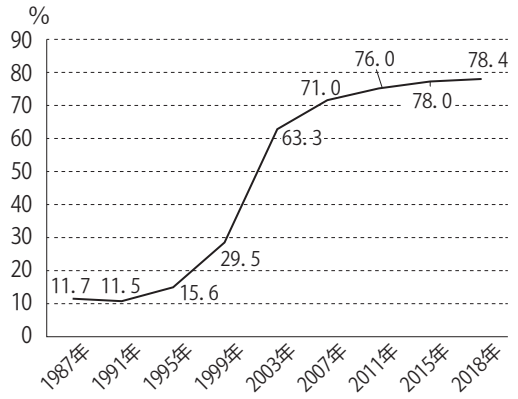
引受郵便物数が、2001年以降は減少している主な原因として考えられることを〔資料2〕を参考にして具体的に書きましょう。

〔資料1〕 引受郵便物数



(総務省 情報通信白書(1987~2018年版)より作成)

〔資料2〕 パソコン普及率



(内閣府消費動向調査(1987~2018年版)より作成)

太郎さんは、「ボランティア活動」について総合的な学習の時間で発表することになり、準備をしています。

先生：太郎さんは、何について発表するのですか。

太郎さん：わたしは、ボランティア活動について発表したいと思います。

先生：なぜ、そのテーマを選んだのですか。

太郎さん：はい。2020年の東京オリンピック・パラリンピックでのボランティア活動には、8万人の募集に対して約20万人の応募があったそうです。また、わたしは兄と一緒にスポーツイベントのボランティア活動に参加したことがあり、よい経験ができたので、ボランティア活動に興味をもちました。

先生：太郎さんは、どのようなよい経験ができたのですか。

太郎さん：わたしは、ボランティア活動をとおして、さまざまな世代の人と接し、異なる考え方にふれることができました。また、人に喜んでもらったことで、やりがいを感じられました。このように、ボランティア活動には良さがあることをみんなに伝えたいです。

先生：それはよいですね。

太郎さん：でも、わたしが参加したボランティア活動には、それほど多くの人々が参加していたわけではありませんでした。調べてみたところ、資料1、資料2を見つけました。資料1から、ボランティア活動に参加しなかった人の中には、参加に対する意識の違いがあるということがわかります。また、資料2から、「参加しようと思ったのに参加しなかった」理由は様々あるのだということがわかります。

先生：なるほど。発表はどのように進めていきますか。

太郎さん：最初に、ボランティア活動のよさについて述べます。次に、資料2から「参加しようと思ったのに参加しなかった」理由を2つあげます。最後に、どうすればそれらを解決できるかを考えて述べたいと思います。

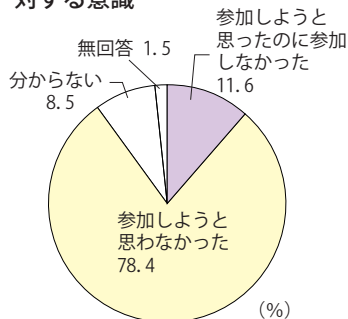
先生：素晴らしい発表になりそうですね。

■問題：あなたが太郎さんなら、どのように発表しますか。300字以内で書きなさい。

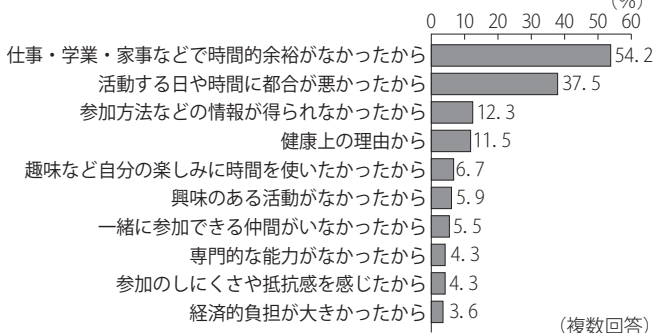
※記号や数字についても1文字と数えること。

資料1

直近1年間にボランティア活動に参加しなかった人の参加に対する意識

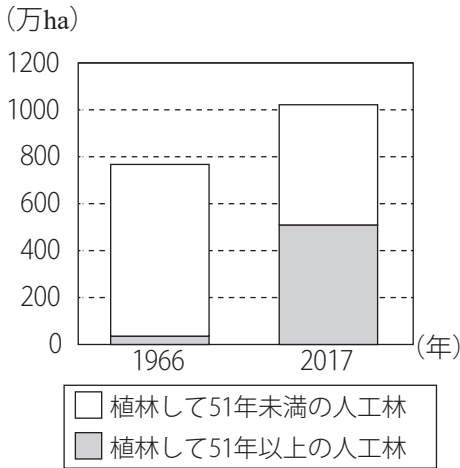


資料2 ボランティア活動に参加しようと思ったのに参加しなかった理由（上位10項目）

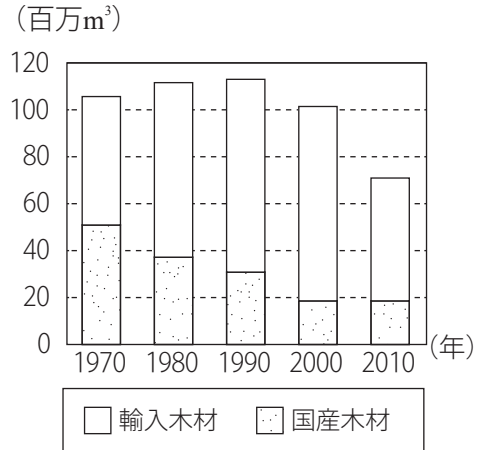


ひろやさんたちは、森林を守ることについて調べ、資料1と資料2を見ながら話をしています。

資料1 人工林の面積の変化



資料2 木材使用量の変化



(資料1, 資料2ともに林野庁の資料をもとに作成)

えいこ「人工林では、木を植えてから51年以上になると切って使うのに適した時期になるとわかったよ。社会科の授業でも、植えて、育てて、切ることをくり返すことが、森林を守るために大切だと習ったね。」

ひろや「そういえば、人工林を育てている間は手入れが必要だったね。」

ゆきな「でも今は、間ばつをしていない人工林が増えていると聞いたよ。また、資料1からは、「ア」ことが読み取れるよ。」

ひろや「どうしてそのようなことが起きているのかな。」

えいこ「それは、林業で働く人が減っていることや、資料2から読み取れるように、「イ」ことなどが理由だそうだよ。」

ゆきな「森林を守るために何ができるか、みんなで考えていきたいね。」

■問題

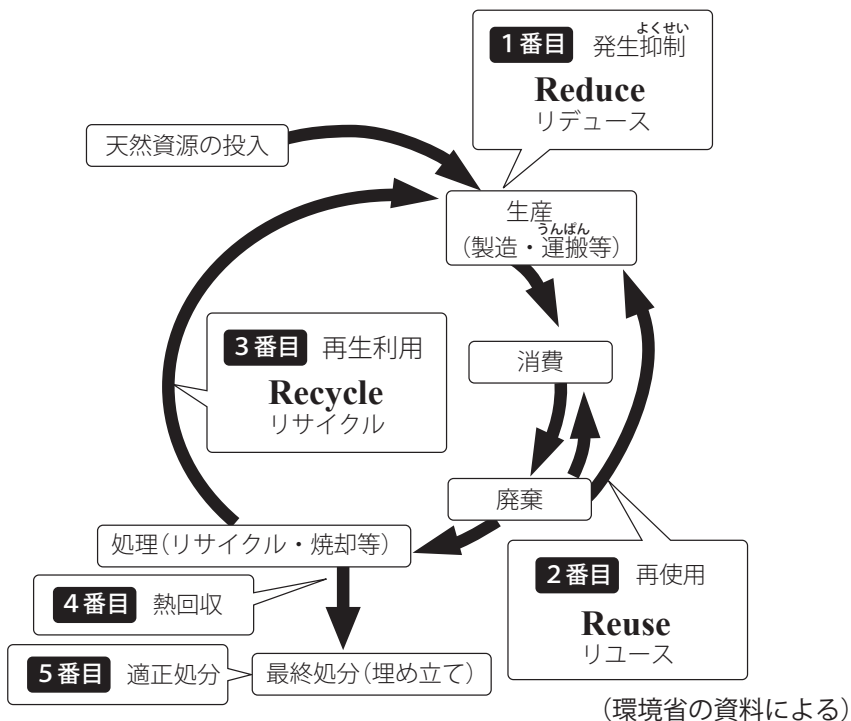
「ア」、「イ」には、それぞれどのような言葉が入るでしょうか。あなたの考えを書きなさい。

日本では、2000年に『循環型社会形成推進基本法』が制定され、循環型社会をめざしはじめました。この法律に基づき、環境省は、まず「リデュース(廃棄物〈ごみ〉の発生を抑えること)」が重要とし、発生した廃棄物の処理については、「リユース(再使用)」、「リサイクル(再生利用)」、熱回収の順に利用し、最後にどうしても循環的な利用ができないものは適正処分する、としました。図1は、環境省が示す循環型社会でのもののながれを表したものです。

■問題1

『循環型社会形成推進基本法』をもとに環境省がめざしている循環型社会において、まず「リデュース」に取り組むことが重要とされている理由を、図1を参考に、「資源」という語を使って70字以内で書きなさい。

図1 循環型社会でのものの流れ



■問題2

循環型社会をつくるには、私たち一人ひとりができることに着実に取り組むことが大切です。プラスチックごみを減らすために、あなたができる「リデュース」の取り組みを簡潔に一つ書きなさい。

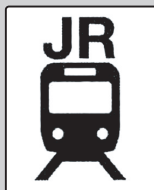
ひろしさんとまちこさんは校外学習で広島市の平和記念公園を訪れました。
 ひろしさん「いろいろな地域から外国人旅行者は広島市にやってきているね。」
 まちこさん「いろいろな地域からやってきているということは、いろいろな国の言葉話す人がいるということよね。」
 ひろしさん「たしかに。そういえば、外国人へインタビューをした時も学校で練習してきた英語が通じなくて困ったことがあったな。」
 まちこさん「それは困ったね。その時はどうしたの？」
 ひろしさん「何とか身ぶり手ぶりで伝えたよ。だから、言葉が通じないというのは外国人旅行者からしてもかなり困ると思うな。」
 まちこさん「うーん。何かいい方法はないかな。」
 ひろしさん「そうだ。今日インタビューをした外国人の中に広島市の観光パンフレットを持っていた人がいたんだ。」
 まちこさん「へえ、そのパンフレットはどんなものの？」
 ひろしさん「日本語が話せない外国人旅行者でも、言いたいことを私たちに伝えることができる工夫がしてあったんだ。」
 まちこさん「すごい。そのパンフレット見てみたいいな。探してみよう。」

■問題

会話文中の下線部「日本語が話せない外国人旅行者でも、言いたいことを私たちに伝えることができる工夫がしてあったんだ。」とありますが、資料はその観光パンフレットのの一部です。この観光パンフレットを外国人旅行者はどのように利用したと考えられますか。この観光パンフレットの工夫している点を具体的にとりあげて、50字～60字で書きましょう。

資料 「広島市が発行している観光パンフレットの一部」

Trains・Stations



Train
鉄道

最寄りのJRはどこですか？
Where is the nearest train station?



Streetcar
路面電車

最寄りの電停はどこですか？
Where is the nearest train streetcar stop?



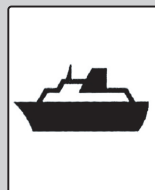
Taxi
タクシー

最寄りのタクシー乗り場はどこですか？
Where is the nearest taxi stop?



Airport
空港

広島空港への行き方を教えていただけませんか？
Can you tell me how to get to the Hiroshima airport please?



Port
港

最寄りの港はどこですか？
Where is the nearest port?

Meals



Restaurant
レストラン

最寄りのレストランはどこですか？
Where is the nearest restaurant?



Cafe
カフェ

最寄りのカフェはどこですか？
Where is the nearest cafe?

Shop



Supermarket
スーパーマーケット

最寄りのスーパーマーケットはどこですか？
Where is the nearest supermarket?



Electronics Store
家電量販店

最寄りの家電量販店はどこですか？
Where is the nearest electronics store?



Department store
デパート

最寄りのデパートはどこですか？
Where is the nearest department store?

(Inside Hiroshima「英語版」より作成)

緑さんと学さんは、総合的な学習の時間にごみ問題について学習しています。

2人は学校中から集められたごみを見ながら話をしています。

学さん：可燃ごみのふくろの中にレジぶくろが入っています。レジぶくろはプラごみ
(プラスチック製容器包装せいようきぼうそう しげん(資源物))ですよね。

緑さん：こちらのプラごみのふくろの中には、荷物をしぼるビニールひもが入っています。
ビニールひもは可燃ごみですよね。

学さん：そうですね。どうしたらみんなきちんと分別してくれるのでしょうか。

学さん：資料を見ると、やっぱり分別ができていないことがわかりますね。

緑さん：グラフ1を見ると可燃ごみのふくろの中に、紙類が12%混ざっています。

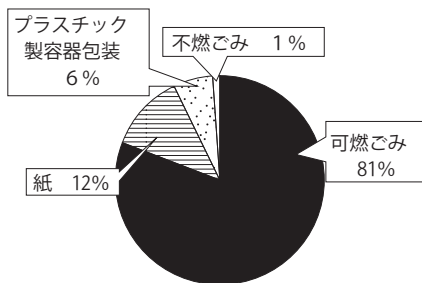
紙類は資源物になるはずですが、きちんと分別すれば、表1のとおり新聞紙やダンボールとしてリサイクルされます。

学さん：そうですね。ごみの分別は、ごみの減量を進める第一歩になります。

■問題

グラフ1, 2と表1を見て、問題点としてあげられることを下線部の緑さんの発言を参考にして書きなさい。

グラフ1 可燃ごみぶくろの中身
(長野市指定のふくろ)*1



グラフ2 プラスチック製容器包装ぶくろの中身
(長野市指定のふくろ)*1

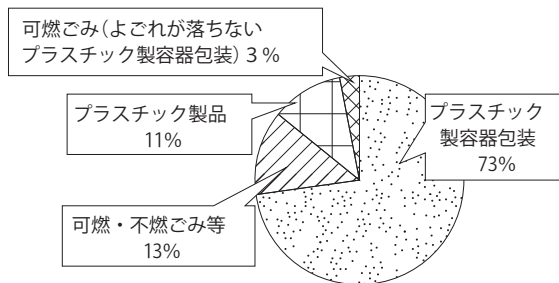


表1 家庭から出される資源物のゆくえ(長野市の場合)

ごみの種類	処理を行う事業者・メーカー	最終的なかたち(主なもの)	
資源物	かん類	製鉄所・かんメーカー	鉄, かん
	プラスチック製容器包装	リサイクル事業者・メーカー	プラスチック製品 工業用原材料
	ペットボトル	リサイクル事業者・メーカー	ペットボトル, 軍手など
	ビン類	リサイクル事業者・メーカー ビンメーカー	ビン 道路づくりの材料
	紙類	製紙メーカー	新聞紙, ティッシュペーパー ダンボールなどの紙類

*1 ^{しより}ごみ処理場に運びこまれた可燃ごみ・プラスチック製容器包装ぶくろの一部を取り出し、中身を種類別に分け、その平均の割合をグラフに表したもの

グラフ1・2, 表1は、「令和元年度長野市ごみ処理概要」より作成

長野県のA市に住む愛さんは、東京都への社会見学からもどり、お父さんと話しています。

父：東京で、水道の水を飲んでみたいかい。A市の水とはちがっただろう。

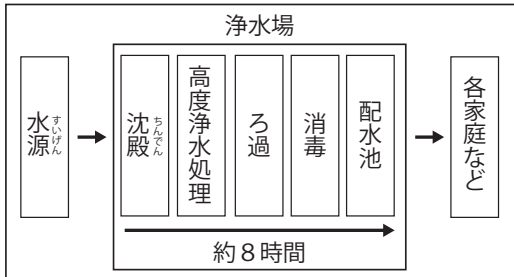
愛さん：飲んだけど、私にはちがいがわからなかったよ。東京は、資料1のように川からの水を約8時間かけて処理し、水道水にしているそうだよ。その中で高度浄水処理という方法を使って水に溶け込んだにおいのもとなどを取り除いているみたい。

父：そうか。水をきれいにするためにいろいろな工夫をしているのだね。

愛さん：A市の水も同じように工夫をしているのかな。

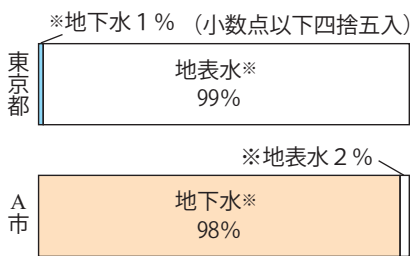
愛さんは、A市の浄水処理の仕組みについて調べ、資料2～資料4を見つけました。

資料1 東京都(金町浄水場)の浄水処理の仕組み



(東京都水道局「わたしたちの水道」より作成)

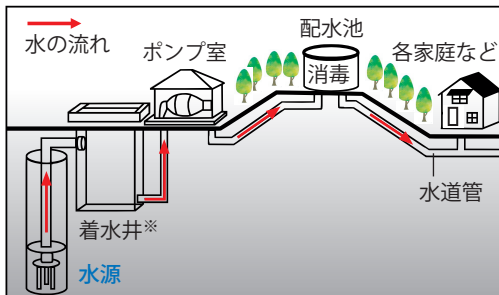
資料2 東京都とA市の水源の種類割合



※地下水…わき水・井戸水など
※地表水…河川・ダムの水など

(東京都水道局およびA水道企業団への取材より作成)

資料3 A市の浄水処理の仕組み



※着水井…水源とする水をためる大型の水そう

(A水道企業団ウェブページなどより作成)

資料4 森林の働き

森林では落葉などが積もり、スポンジのようなやわらかい土が作られます。このスポンジのような森林土壌は、雨水を地中に浸透させ、雨水をたくわえる機能もっています。また、森林土壌は、雨水が石や砂の層を通過する過程でちりやごみなどの混じり物を取り除いたり化学物質を吸い取ったりするなど、水をきれいにする機能もっています。さらに岩石の間を通った雨水は、ミネラル分を多くふくんだ地下水となります。それには、短くても数か月、長い場合は数十年かかるといわれています。A市では森林土壌を通った水を多く利用しています。

(A水道企業団への取材および林野庁ウェブページなどより作成)

■問題

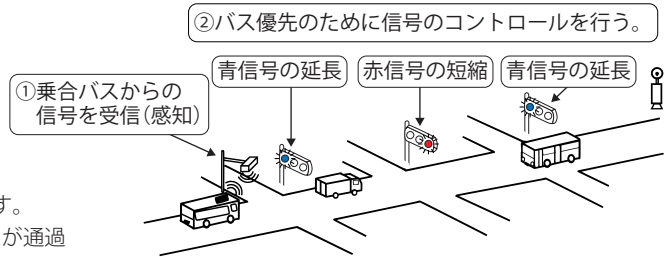
A市の浄水処理は、東京都より工程が少ない仕組みになっています。その理由を、資料1～資料4をもとに50字以上70字以内で書きなさい。

花子：私は、路面に「バス優先」と書かれた道路を見たことがあります。2車線の道路のうち、一方の道路には「バス優先」と書かれていました。

先生：一般の自動車も通行できますが、乗合バスが接近してきたときには、「バス優先」と書かれた車線から出て、道をゆずらなければいけないというきまりがあります。バス以外の一般の自動車の運転手の協力が必要ですね。

太郎：図1のような資料がありました。この資料の説明には、「このシステムがある場所では、乗合バスからの信号を受信する通信機が設置されています。この通信機が乗合バスからの信号を感知すると、乗合バスの通過する時刻を予測して、バスの進行方向の青信号が点灯している時間を長くしたり、赤信号の点灯している時間を短くしたりするなど、乗合バスが通過しやすくしています。」と書いてあります。この仕組みのことを「公共車両優先システム」というそうです。

図1 公共車両優先システムが導入された区間



先生：「公共車両優先システム」は、乗合バスを常に青信号で通過させるための仕組みではありませんが、バスの信号待ちの時間を短くする効果があります。また、花子さんが見た「バス優先」の車線とあわせて利用されている場所もあるようです。

花子：この仕組みがある場所では、バスが通過するときと、通過しないときとは、青信号や赤信号の点灯時間が変わるというのはおもしろいですね。この仕組みがある場所では、実際どのような変化がみられたのでしょうか。

先生：ここに、図2、図3、図4の3つの資料があります。

図2 公共車両優先システムが導入された区間



(千葉県警察ホームページ「新交通管理システム・PTPS調査報告」より作成)

図3 調査した区間のバスの平均運行時間

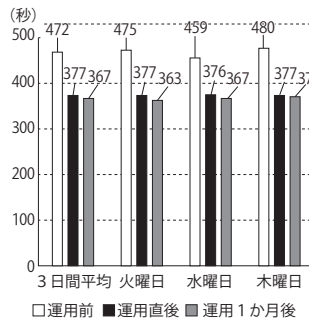
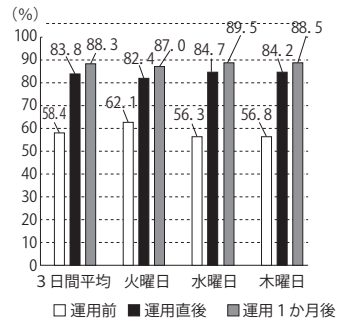


図4 時刻表に対するバスの運行状況 (7分間の所要時間の路線を8分以内で運行した割合)



太郎：図3で、「公共車両優先システム」の運用前と運用後を比べると、調査した区間をバスで移動するときにかかる時間が短縮されたようですね。

花子：バスの時刻表に対しても、ほぼ時間どおりに運行しているようです。

太郎：時間どおりにバスが運行してくれると便利だから、この仕組みをまだ導入していない地域があったら、導入していくのはどうでしょうか。

花子：先生の話や、図1～図4の資料からは、「バス優先」の車線や「公共車両優先システム」がこのままでよいとはいえないと思います。

■問題：花子さんは、「先生の話や、図1～図4の資料からは、「バス優先」の車線や「公共車両優先システム」がこのままでよいとはいえないと思います。」と言っています。あなたは、「バス優先」の車線や「公共車両優先システム」にどのような課題があると考えますか。また、その課題をどのように解決すればよいか、課題とあなたの考え(解決策)をわけて書きなさい。

さくらさんたちは、それぞれが興味をもっている仕事について話し合っています。

さくらさん：私は、気象予報士について調べました。気象予報士は、気象庁から提供される各地の観測データなどから、天候や気候の様子を調べます。

気象予報士になるには、国家資格が必要です。

しおりさん：興味をもっている仕事について考えてみると、その役割や意義に気づくことができました。これからもいろいろな仕事について調べてみたいです。

さくらさん：私も気象予報士以外の仕事について調べていたら、次のようなマークを見つけました。女性をはじめ、だれもが働きやすい場所が増えるといいですね。

■問題

さくらさんが見つけたマークは、資料1の「えるぼし」というマークです。

資料2に示されている「15～64才の人口」と、「15～64才で職業に就いている人口」からわかる男性と女性のちがいを明らかにしたうえで、国が、【マークの説明】に書かれている取り組みを進めている理由を書きましょう。

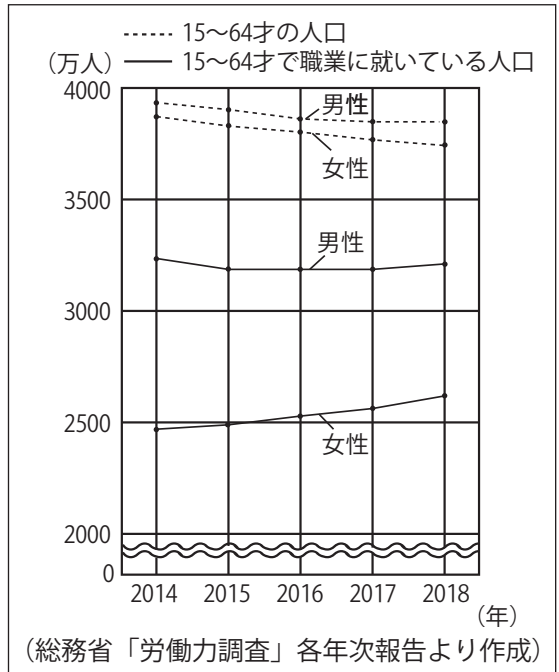
資料1 「えるぼし」



【マークの説明】

「女性が働きやすい職場づくり」に取り組む会社が、計画を立て、一定の条件を満たしたときに、国から使用を認められる。国が2016年に始めた制度。

資料2 15～64才の人口と、15～64才で職業に就いている人口の男女別の人数



太郎さん、花子さんは^{おおだいがはら}大台ヶ原へハイキングに行きました。

大台ヶ原の中を歩いていると、道の両側に樹皮をはがされた木が見られました。樹皮をはがされてむきだしになっているところをよく観察すると、樹液がしたたり、幹(木のくきのこと)の内部まではぎとられていることがわかりました。

大台ヶ原ではリョウブやトウヒとよばれる木の樹皮をシカがはぐことなどにより木が^か枯れることが知られています。

太郎さん：樹皮をはがされて、枯れている木がたくさんあるよ。

花子さん：そうだね…。

太郎さん：どうして大台ヶ原のシカは、リョウブやトウヒの樹皮をはぐのかな。

花子さん：冬のえさ不足が原因ではないのかな。例えば、富士山のある調査区では、シカはえさが少ない冬の終わりにより多くの栄養を求めてシラビソという木の樹皮をはぐことが知られているよ。だから、大台ヶ原でもシカはえさが不足する冬に、栄養を求めて樹皮をはぐのではないかな。

【資料】

■問題

花子さんの下線部

「冬のえさ不足が原因ではないのかな」

という意見は正しいでしょうか。

正しいと考えるなら○、正しくないと考えるなら×の記号で答えましょう。また、そう考えた理由を、資料から読み取ったことをもとに説明しなさい。また、**図1～図4**の資料を複数用いてもかまいません。

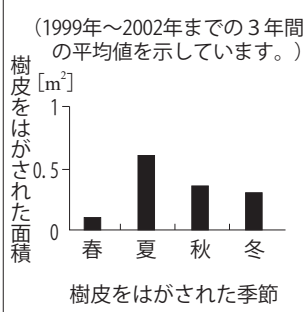


図1 樹皮をはがされた面積と季節

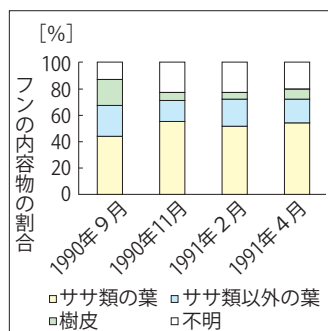


図2 シカのフンの内容物の割合の季節変化

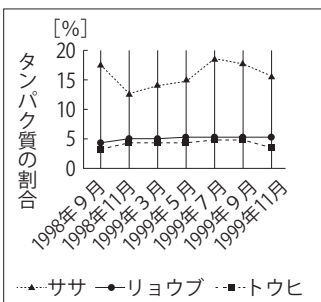


図3 ササの葉、リョウブとトウヒの樹皮に含まれるたんぱく質の割合と季節変化

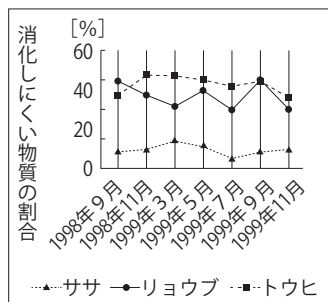


図4 ササの葉、リョウブとトウヒの樹皮に含まれる消化しにくい物質の割合と季節変化

※ 大台ヶ原では一年を通じてシカのえさとなるササが十分にある。

道路の歴史と自動車での荷物の運搬^{うんぱん}に関して調べました。資料1は、道路の歴史をまとめたものです。資料2は、自動車が運んだ荷物の輸送重量距離^{きより}（運んだ荷物の重量と距離の積）と、国民の平均給与額^{きゅうよがく}（勤め先から支払^{しはら}われる金額）のそれぞれの変化を示したものです。

■問題

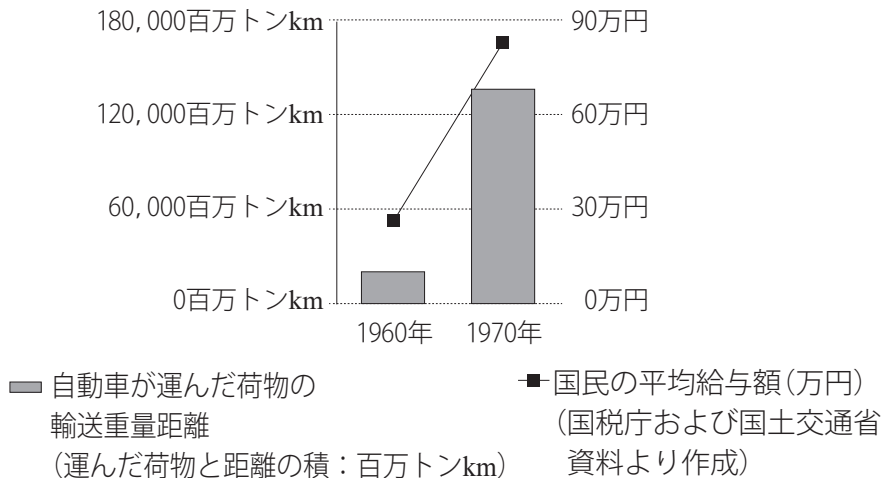
資料1と資料2を参考に、経済・交通に関する世の中の変化にふれながら、自動車が運んだ荷物の輸送重量距離が、1960年から1970年に大きく増えた理由を考えて書きましょう。

〔資料1〕

年	出来事
1954	道路整備をすすめる長期計画が定められた。
1957	高速道路建設をすすめる法律がつくられた。
1963	日本初の高速自動車道（名神高速道路の一部）が開通した。
1969	東京と大阪が高速道路で結ばれた。

（国土交通省資料より作成）

〔資料2〕

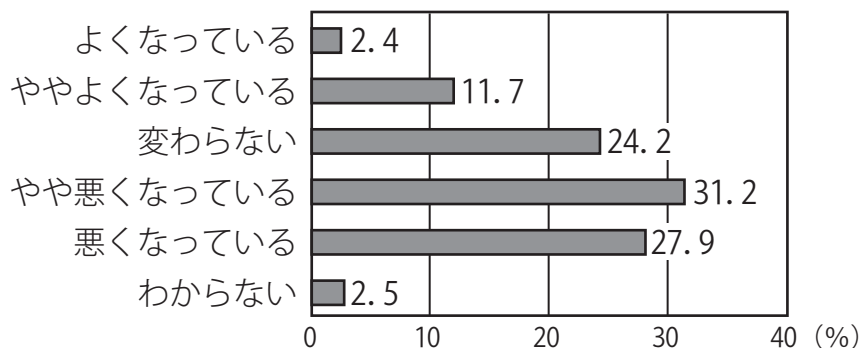


次の資料は、全国の18歳以上の男女を対象に、自然環境や環境問題の状況は、ここ数年間でどう変わってきていると思うかについてたずねた結果をまとめたグラフです。

■問題

資料を見て、考えられることを書きなさい。

資料 質問「私たちを取り巻くさまざまな自然環境や環境問題の状況は、ここ数年でどう変わってきていると思いますか？」



〈回答した人〉

全国の18歳以上の男女
1,640人

〈グラフの数値〉

小数第2位を四捨五入
しているため、合計は
100%とはならない。

(国立研究開発法人 国立環境研究所「環境意識に関する
*世論調査報告書 2016」より作成)

(注) 世論…世間一般の人々の意見のこと

たかしさん：この中学校では、校内の施設^{しせつ}で調理されたできたての給食が食べられるらしいですね。

はなこさん：そうよ。学校がある福井県産の食材を使って調理されたおいしい料理を、ランチルームで中学1年生から3年生の全員がいつもに食べるのよ。

■問題

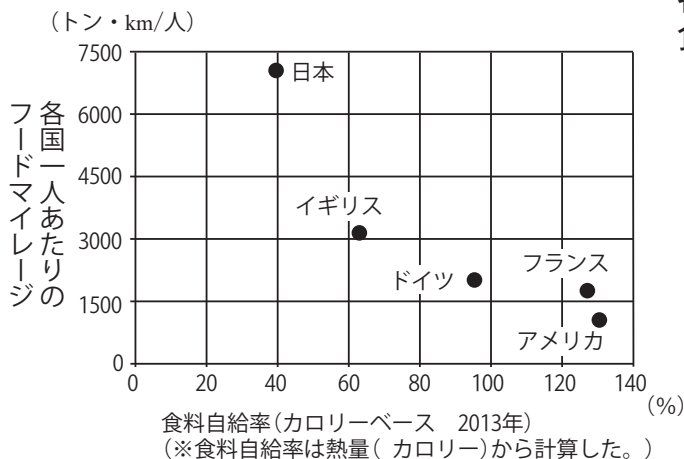
下線部について、このような取り組みは「地産地消」と呼ばれ、環境問題^{かんきょう}について考える1つの視点にもなっています。

消費地の近くで生産された食料を消費することは、環境への負担を減らすことにもつながります。環境への負担を表す目安としてフードマイレージがあります。

フードマイレージは

「**食料の輸入量×生産地(国)と消費地(国)との間の輸送きょり**」で表される数値です。たかしさんは日本を含む5か国の食料自給率と1人あたりのフードマイレージ、各国の1人あたりの食料輸入量を調べ、**資料1**、**資料2**を作成しました。**資料1**で日本は他の国々と離れた所に位置しています。その理由として考えられることを、**資料1**、**資料2**をもとに説明しましょう。

資料1



資料2

各国の1人あたりの食料輸入量(kg/人)

日本	461
イギリス	726
ドイツ	551
フランス	483
アメリカ	163

本pdfデータは「**社会・資料分析問題(2020年版)**が
楽しくよくわかる過去問解説カード」
の問題のみになります。

問題＋解説カードは、

「自宅でできる受験対策ショップ ワーカー！」

(<https://lovestudy.thebase.in/items/38549031>)

にてご購入いただけます。